



市立岸和田市民病院だより

# うらら

第4号  
平成27年3月

【発行】  
市立岸和田市民病院  
広報委員会

まだまだ魅せます!

## 診療科&検診特集!!

循環器内科



泌尿器科

整形外科

放射線科

当院は泉州地域唯一の国指定「地域がん診療連携拠点病院」です

### 【目次】

- P.2…【特集】泌尿器科
- P.3…【特集】整形外科
- P.4~P.5…【特集】循環器内科
- P.5…写真館(クリスマスロビーコンサート)
- P.6…PETがん検診・脳ドックのご紹介
- P.7…葉のお話・栄養ミニレシピ
- P.8…地域医療センターからのお話

### ～基本理念～

- ・市民の皆さんが安心して心のこもった良質な医療を受けられる病院をめざします。
- ・患者さん一人ひとりの権利と安全を確保し、絶えず向上心をもって皆さんに信頼されるよう努めます。

### ～基本方針～

- ・市民の皆さんが安心して良質な医療を受けられるように高度・専門医療と救急医療を充実する。
- ・患者さんが医療の中心であることを忘れず、個人の知る権利と決定する権利を尊重する。
- ・患者さんと職員の安全を確保する。
- ・地域の中核病院として地域医療連携を推進する。
- ・職員の教育・研修を充実し、絶えず向上心を持って努力する。



温かい心をもって、  
良質で高度な  
医療を提供します。

## 【特集】泌尿器科

当院の泌尿器科では、平成26年6月より導入したホルミウム・ヤグレーザー装置を用いた前立腺肥大症に対する内視鏡的手術（HoLEP）を行っています。

これまでは、電気メスを用いて内視鏡的に肥大した前立腺組織を切除する手術（TURP）を行っておりましたが、切除と止血を交互に行わなくてはならず、大きな前立腺肥大においては、削り残しによる再発の可能性もありました。

対して、新たに導入したHoLEPという最新の手術方法は、内視鏡を尿道から前立腺に通し、レーザーファイバーと呼ばれる機器を前立腺の内側（内腺）と外側（外腺）の境目に挿入して行います。そしてホルミウム・ヤグレーザーを照射し、肥大した内腺（腺腫）を外腺から切り離します。膀胱内へくり抜かれた腺腫は別の機器で細切・吸引しながら摘出します。ホルミウム・ヤグレーザーは切開と凝固が同時にできる利点と、下図のようにみかんの皮から実をはがすように前立腺を切除するため、直接内腺を傷つけないので出血自体が少ないという利点があります。このことによりHoLEPによる治療法は、TURPに比べて出血量を少なくすることが可能となり、低侵襲な治療法として非常に注目されています。



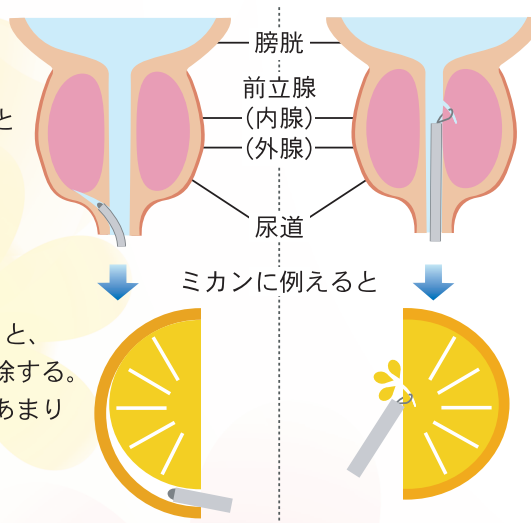
### 泌尿器科より一言!

今までの方法では手術できない大きな前立腺でもHoLEPなら可能です!

#### ■ HoLEP

内視鏡を尿道から通し、レーザーファイバーを内腺と外腺の境目にあてる。先端から出るレーザー光で、内腺をくり抜く。

内腺を実、外腺を皮に例えると、皮から実を剥がすように切除する。実(内腺)から果汁(血液)があまり出ない。



#### ■ TURP

内視鏡を尿道から通し、電気メスで尿道側から前立腺を少しずつ切り取る。

実(内腺)の部分を直接切除するため、果汁(血液)が多く出る。

HoLEPは、前立腺組織のうち、血管が少ない外腺と内腺の境目を剥離しますので、出血や術後の痛みが少ない手術です。そのため、鎮痛薬を使用する頻度が少なく、術後のカテーテル留置期間も短くなっています。また、肥大した前立腺組織をくり抜くため、残存組織が少なく、再発の可能性はほとんどありません。

治療費については、HoLEPは経尿道的前立腺手術の一種でありTURP同様、健康保険が適用となります。ご興味のある患者さんは、ぜひ担当医にご相談ください。



HoLEP手術風景

## 【特集】整形外科

4月よりスタッフの移動に伴い新たに3名が着任し合計5名の整形外科医で診療をしています。

本病院は泉州地区の整形外科医療の核となる総合病院であり、各科と協力し合って診療にあたっています。整形外科スタッフも大谷（上肢、関節、スポーツ）、松下（関節、脊椎、スポーツ）、中川（上肢、関節、スポーツ）、中村（脊椎、外傷）、森竹（外傷）と整形外科のさまざまな部位の障害に対応できるスタッフがそろっています。

外来診察は9時から16時まで毎日2名で担当しています。初めて受診される患者さんもたくさん来られますが、予約患者さんや急な治療を要する患者さんを優先的に診察することになりますので、お待ちいただく場合はご了承ください。紹介状をお持ちの患者さんはあらかじめ予約をとれますので、できればかかりつけの先生から紹介状を持参していただければ、待ち時間の短縮だけでなく治療を進めるうえでも大変助かります。

整形外科での治療は飲み薬や注射、貼り薬から手術までさまざまです。同じ病気でも症状に応じて、最も適切と思われる治療を提供します。時には手術をしなければいけない時もあります。手術も骨折や脱臼などの怪我の治療から、慢性的な腰痛や関節の痛みに対する人工関節置換術、変形した関節の矯正や神経の異常の治療までさまざまです。リハビリテーションのスタッフも充実していますので、手術の後は早くからリハビリで機能の回復に努めます。

当院では関節リウマチの患者さんが多いのも特徴です。以前は‘不治の病’と言われた関節リウマチも現在では薬の進歩とともに治る病気になりました。飲み薬から注射薬までさまざまな治療手段を用いて関節リウマチを治そうと頑張っています。



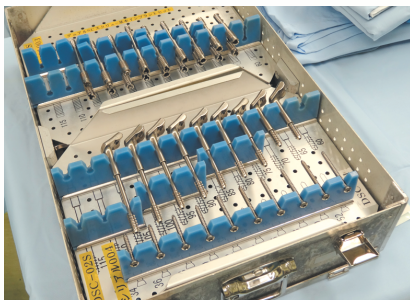
### 整形外科より一言！

関節痛から手足のしびれまで。いつでも御相談ください。

### 整形外科の手術のあれこれ



手術室風景



手術用器械（インプラント・鋼製小物類）

## 【特集】循環器内科

### 【24時間365日いつでも救急対応しています】

岸和田市民病院の循環器内科は8名のスタッフで24時間365日いつでも救急対応できる体制を整えています。市民病院に循環器科が開設された23年前より、“断らない救急”、“すみやかな対応”を常に心がけております。急性期の治療についてはもちろんのこと、病状が安定してからも開業医の先生方と2人主治医制で連携をとりながら、病状が悪化した場合にはすぐ対応できるようにするなど、患者様の安心感につながる医療を提供しています。

循環器の病気の多くは生活習慣病であるため、食事や運動、内服管理など生活習慣の改善とその後の自己管理が非常に重要となります。市民病院では、患者さんの病気を治すだけでなくその人の生活環境も含めてケアを行うことで、病状の悪化による再入院を防ぎ、自宅で元気に過ごすことができるよう様々な職種からなるチームでサポートしています。

### 【心臓リハビリテーション】

心臓リハビリテーションは、心筋梗塞や狭心症発作、心臓手術後に日常生活能力が低下している患者さんに対して運動指導を中心とした日常生活管理等を行うリハビリテーションです。心臓病を患うと、運動能力が低下し社会復帰することが難しくなりますが、弱くなった心機能を強化することで、運動能力が高まり日常生活を楽に過ごすことができます。

心臓への影響を考えると不安が大きいかもかもしれませんが、医師や看護師が心電図や血圧をチェックしながら運動療法を行うので、安全にリハビリをすること可能です。医師、専従看護師、理学療法士等の多くの職種が患者さん一人ひとりの状態に応じた丁寧なりハビリプログラムを提案、実施しています。

心臓リハビリテーションは継続した運動療法が重要ですので、病院でリハビリを行うだけでなく、自宅でも継続して運動が行えるように患者さんと相談しながらリハビリテーションに取り組んでいます。



### 循環器内科より一言!

心筋梗塞、心不全、不整脈  
なら、いつでも当院の循環器  
内科へ来てください。



カテーテル治療風景



心臓リハビリテーション風景

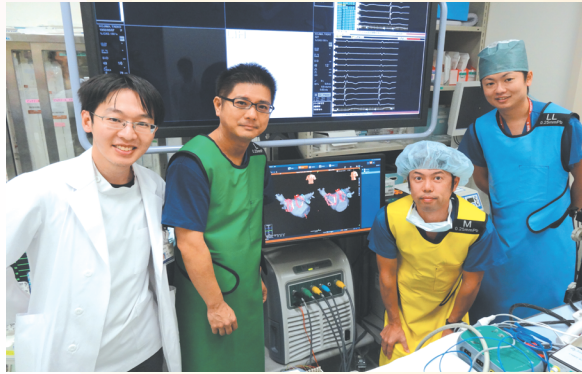
アブレーション特集

最新の治療法、カテーテルアブレーション

(アブレーション:心筋焼灼術)

アブレーション治療は、不整脈を起こす原因となっている異常な電気興奮の発生箇所を焼き切る最新の治療法です。

この治療法はカテーテルを太ももの付け根から血管を通して心臓に挿入し、カテーテルの先から電流を流して焼灼するもので、開胸手術と比べて患者さまへの身体の負担が軽くなります。治療が成功すれば根治できるため、長期の服薬や通院が不必要となるなど、患者さんの生活の質の向上の期待ができます。



最新のアブレーション用医療機器  
3Dマッピングシステムを導入(写真中央)

写真館 クリスマス ロビーコンサート

昨年12月10日(水)、1階ロビーでクリスマスコンサートを開催。ボランティアの方々による演奏と歌声をご披露頂きました。



## PETがん検診のご紹介(放射線科)

市民病院では、最新のPET-CT装置と血液検査（腫瘍マーカー）により、がん検診を行っています。

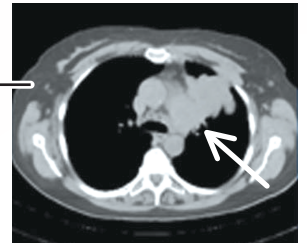
PET検査とは、がん細胞が正常細胞に比べて、多くのブドウ糖を取り込むという性質を利用しています。頭部から大腿まで、一度に検査することが可能です。PET-CT装置では、PETとCTの画像を同時に撮影することができます。両方の画像を融合させることにより、精度の高いがん病巣の検出が可能です（右図参照）。腫瘍マーカーとは、がん細胞から放出される特殊な物質のことで、血液中の濃度を測定することにより、がんの診断に役立っています。

本院のPETがん検診では、5種類の腫瘍マーカー（ $\alpha$ FP, CEA, CA19-9, シフラ, PSA 男性, CA125 女性）を測定し、画像診断と合わせて、早期発見の精度を高めています。

がんは、わが国の半数の人がかかる病気です。是非、PETがん検診をご利用下さい。

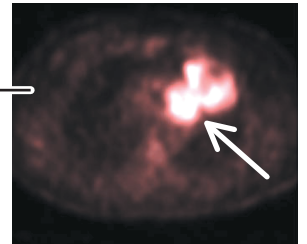
### CT画像

矢印の部位にがんを認めます。



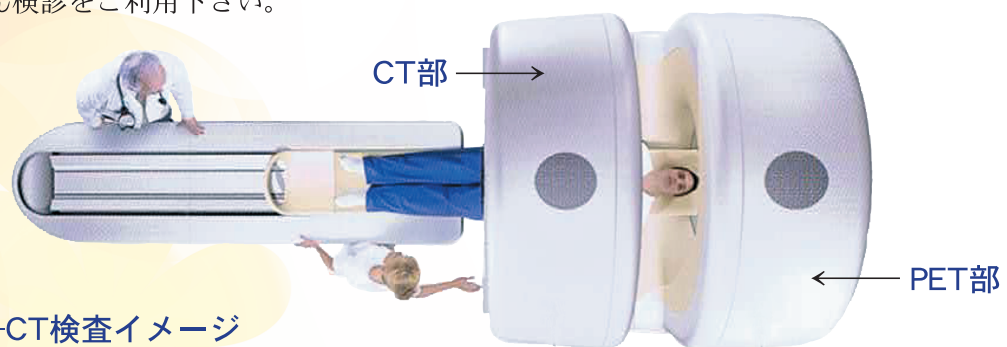
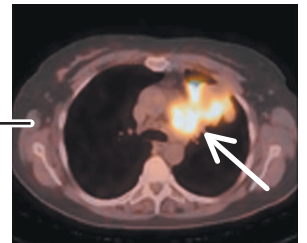
### PET画像

PETで、がんの部分にFDGが強くとりこまれています。



### CT・PET融合画像

CTとPET画像を融合させることにより、正確な診断が可能となります。



PET-CT検査イメージ

## 脳ドックのご紹介(脳神経外科)

当院の脳ドックでは、最新型3テスラMRIや頸動脈超音波検査、心電図、血液検査等を用い、脳梗塞、脳腫瘍等の脳病変や脳動脈瘤等の脳血管病変の有無を調べます。早期に発見することにより、生活習慣の改善などの予防、さらには早期治療に結びつけることを目的とします。

検診結果につきましては、放射線科部長 藤澤(PETがん検診)・脳神経外科部長 橋本(脳ドック)が、30分程度の時間をかけて、丁寧にわかりやすく説明いたします。詳細は当院ホームページをご覧ください。

[http://www.kishiwada-hospital.com/patient/check\\_info.html](http://www.kishiwada-hospital.com/patient/check_info.html)

※PETがん検診・脳ドックは完全予約制です。お問い合わせは予約センターまで。

予約センター TEL.072-441-8904 (9:00~17:00)

**お薬の話**

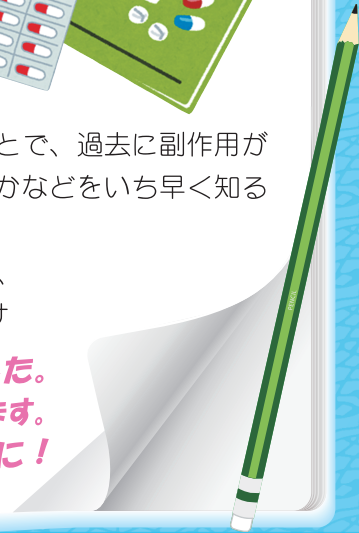
【第4号】

正しい薬の使い方 <その3> お薬手帳

かかりつけの薬局が複数になる場合など、患者さん自身が薬の管理が出来なくなるといった問題を解決するために、“お薬手帳”を活用して下さい。薬の名前や用法用量などの情報を継続的かつ一覧で見られるよう薬剤師が記載することで、薬の適切な管理と使用が可能となります。調剤薬局はもちろん、医療機関における入院時は、持参された薬とともにお薬手帳を提出していただくことで、過去に副作用が出た薬はないか、飲みあわせの悪いものはないか、重複していないかなどをいち早く知ることができます。

また、震災時に“お薬手帳”が役立ったということもありますので、是非、お薬手帳は“命のシートベルト”として常に携帯していただければと思います。

**薬剤部からのお話を4回にわたって掲載しました。  
次回からは認定看護師が関わる看護専門外来のお話をご用意しています。  
お楽しみに！**



**栄養ミニレシピ 野菜のクリームスープ**

～白味噌仕立て～

【栄養量】エネルギー 111kcal、たんぱく質 6.5g、脂質 1.5g、食物繊維 3g、食塩 1.6g



野菜がたくさんとれるスープはいかがでしょうか。今回は白味噌と低脂肪牛乳を使った簡単で低カロリーのレシピをご紹介します。

スープの具はお好みの野菜でつくっていただけますが、ここでは和・洋どちらでも美味しいかぶらを使ってみました。かぶらは古くから春の七草ですず菜(鈴菜)と呼ばれ、体を温める作用があるといわれてきました。かぶらの根には食物繊維やビタミンC、葉には鉄分やビタミンAが豊富に含まれています。葉は捨てずに新鮮なうちに炒め煮などに利用しておくとよいでしょう。

栄養管理部

**材料(1人分)**

- ブロッコリー ……30g
- 玉ねぎ ……30g
- かぶら(根) ……30g
- 人参 ……15g
- 低脂肪牛乳 ……100ml
- 白味噌 ……8g (小さじ1と1/3)
- 片栗粉 ……3.5g (小さじ1)
- コンソメ ……1.5g
- 塩 ……0.2g (少量)
- こしょう ……少量
- ローリエ ……少量
- 水 ……100ml

**作り方**

- ①ブロッコリーは小さめの小房に分け、下茹でしておく。
- ②玉ねぎは厚めのスライスにする。かぶら、人参は一口大の乱切りにする。
- ③鍋に玉ねぎ、かぶら、人参、分量の水、ローリエを入れて火にかける。  
煮立ったらコンソメを入れ、野菜に火が通るまで煮る。
- ④野菜に火が通ったら低脂肪牛乳を加え、ひと煮立ちさせる。
- ⑤ローリエを取り出し、白味噌を溶き入れ、塩、こしょうで味を調え、  
茹でブロッコリーを加える。
- ⑥水溶き片栗粉を加え、とろみがつけば器に盛る。

# 地域医療センターからのお話

## 「転院」という言葉をご存知でしょうか？

それは、病状に合わせて、病院や施設を選びなおしながら、治療・療養を継続することをいいます。救急の病院（急性期病院といいます）や、急性期治療後の専門的なりハビリテーションの病院（回復期リハビリテーションといいます）、急性期治療や回復期リハビリテーションを乗り越えたのだけれども、完治しがたく、療養を継続される患者さんの病棟（療養病床といいます）など、現在の医療提供体制は、病院ごとに役割を分担しています。

こうした病院ごとの役割をつなぐ「転院」を、**地域医療連携体制**といいます。もちろん目標は、一日も早く健康を回復され、ご家庭に、職場に戻れることです。ご希望であれば、在宅での治療・療養も、かかりつけ医と病院との連携や、訪問診察や訪問看護というサポートで可能です。医療福祉相談部では、こうした治療・療養のご継続に関するご相談をお受けしています。ぜひ、ご活用ください。

【連絡先：地域医療センター 072-445-1000】



医療ソーシャルワーカー（MSW）スタッフ

## ～かかりつけ医と当院との連携の仕組みと地域医療連携～

今の医療機関は、地域でそれぞれの異なった役割を持って、医療の提供をしています。  
市民病院は、**専門医療を提供する急性期病院の役割**を担っています。

地域のかかりつけ医



紹介

自宅での生活

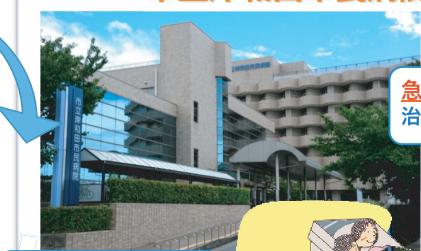
日頃の健康管理や治療は診療所で

紹介

症状が安定したら元のかかりつけ医に

専門的な治療・検査は市民病院で

市立岸和田市民病院

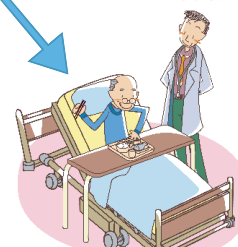
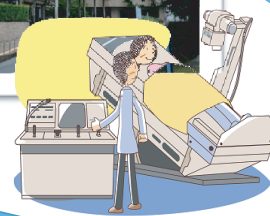


急性期病院での治療終了後は...

転院

自宅での生活に戻るための回復期リハビリテーション病床

自宅での生活に戻る前に療養病床



- ・それぞれの役割を持つ医療機関は、地域全体で連携して皆様の健康を守っています。
- ・紹介状は、皆様の症状を正確に知るために大切なものです。なるべく「紹介状」をお持ち下さい。
- ・かかりつけ医の医師から、当院の外来診察予約や検査予約をとってもらうことができます。



テレビなどで放送されている医療に関する知識には内容が偏ったもの・不正確なものがあり、なんとなくわかった気にさせられることも多いものです。本紙の製作には、当院の案内だけでなく、皆さまに医療・治療現場から発信する生きた知識を少しでも増やして頂けるような思いを込めております。今後とも、広報紙「うらら」では、魅力ある記事作りに努めていきます。

平成27年 陽春



市立岸和田市民病院

〒596-8501 岸和田市額原町1001番地  
TEL.072-445-1000 FAX.072-441-8812  
URL <http://www.kishiwada-hospital.com/>